

■ ■ 化学療法投与計画書《GEM療法》■ ■

実施日

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp)ゲムシタビン(ジェムザール) 1000mg/m² day1,8,15 4週毎(3週投与1週休薬)

本管①	Day1	レジメンコメント1				
生理食塩液 100mL 1 瓶		レジメンコメント2				
						
側管① 生理食塩液開始時15分かけて <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #00FFFF; width: 15%;">15 分</td> <td>パロノセトロン点滴静注 バッグ0.75mg 50mL 1 袋</td> </tr> <tr> <td></td> <td>デカドロン注射液1.65mg 0.5mL 2 管</td> </tr> </table>			15 分	パロノセトロン点滴静注 バッグ0.75mg 50mL 1 袋		デカドロン注射液1.65mg 0.5mL 2 管
15 分	パロノセトロン点滴静注 バッグ0.75mg 50mL 1 袋					
	デカドロン注射液1.65mg 0.5mL 2 管					
側管② 全量100mLに調製 <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #00FFFF; width: 30%;">30 分</td> <td>生理食塩液 100mL mL ゲムシタビン塩酸塩 mg ゲムシタビン点滴静注液1g ゲムシタビン点滴静注液200mg</td> </tr> </table>			30 分	生理食塩液 100mL mL ゲムシタビン塩酸塩 mg ゲムシタビン点滴静注液1g ゲムシタビン点滴静注液200mg		
30 分	生理食塩液 100mL mL ゲムシタビン塩酸塩 mg ゲムシタビン点滴静注液1g ゲムシタビン点滴静注液200mg					

<注意すべき副作用>

- 発熱 ●食欲不振、吐き気
- 血管痛、静脈炎
- 白血球減少 ●赤血球減少(貧血)
- 血小板減少 ●肝機能低下

Day8へ続く

<用量規制因子>

投与延期:投与当日の白血球数が $2000/\mu\text{L}$ 未満、又は血小板数が $7万/\mu\text{L}$ 未満(骨髄機能が回復するまで投与延期)

投与中止

- ・腫瘍の明らかな増大、新病変の出現等、病態の進行が認められた場合
- ・間質性肺炎等の肺毒性の発症や急性増悪、過敏症、重症感染症、心筋梗塞、呼吸困難等のアナフィラキシー様症状が発現した場合
- ・微小血管症性溶血性貧血の兆候が認められた場合等

投与量の減量:以下の副作用が発現した場合、投与の延期を検討し、投与の延期を検討し、次回の投与量を減量することを検討

- ・Grade3以上の血液学的毒性(白血球数・血小板数を除く)
- ・Grade3以上の恶心・嘔吐